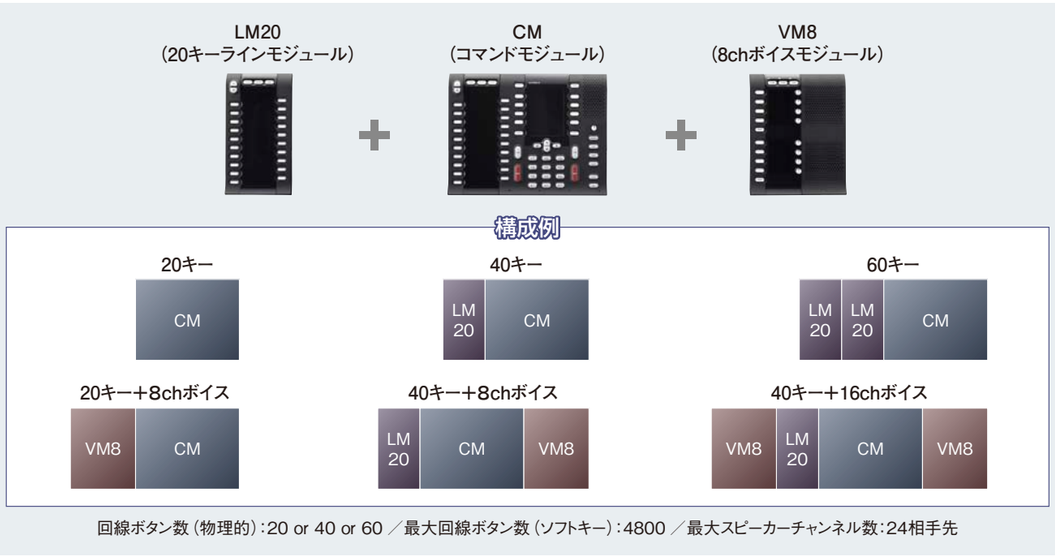
モジュール方式の採用により、運用に合わせたさまざまな構成が可能です。



回線ボタン数（物理的）：20 or 40 or 60 ／最大回線ボタン数（ソフトキー）：4800 ／最大スピーカーチャンネル数：24相手先

デュアルインタフェース（オプション）

TDM方式とIP方式のデュアルインタフェースを備えています。ディーリングルーム構築時の環境や導入予算に合わせて、接続パターンをお選びください。また、将来の機能拡張のためにUSBインタフェースも備えています。

選べる3つの接続パターン

- TDM方式
- IP方式（一重化or二重化）
- IP方式とTDM方式での冗長化

例えば、ディーリングルームはTDM方式、BCP（緊急時事業継続計画）としての分散ディーリングルームやバックアップディーリングルームはIP方式とするなど、混在して構築できることが特長です。

5段階角度調整機能

操作のしやすい角度、液晶画面の見やすい角度などを、5段階で調整できます。さらに、パソコンのキーボード用にタレット前面の高さも調整できます。

■装置設置後3年を目安にバッテリー（鉛蓄電池）の交換が必要になります。バッテリーの充放電回数が多いとさらにバッテリーの寿命が短くなります。
■本製品には有寿命部品（電源パック、HDDなど）が含まれています。本製品の安定稼働期間は製品納入後7年です。
■海岸の近くや直接潮風があたる場所、温泉地の硫黄環境への設置は避けてください。塩害などにより製品寿命が短くなります。（設置する必要がある場合は、弊社担当営業または販売店に事前にご相談ください。）

■ 本製品を最適な状態でご使用いただくため、定期点検などによる事前予防が重要です。またBCP（事業継続計画）の観点から保守契約をお願いしております。保守サービスに関する詳細内容については、弊社担当営業または販売店にお問い合わせください。

⚠ 安全に関するご注意	正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

http://www.hitachi-ite.co.jp/lineup/solution/ipt/

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

●カタログに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
●カタログに記載の機能・仕様によっては、製品のバージョンアップが必要となる場合があります。製品のバージョンについては弊社担当営業にお問い合わせください。
●製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
●本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています。本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令等を遵守し、必要な手続きを行ってください。
海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありません。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。
●画面はハメコミ合成ですので実際の画面と異なることがあります。

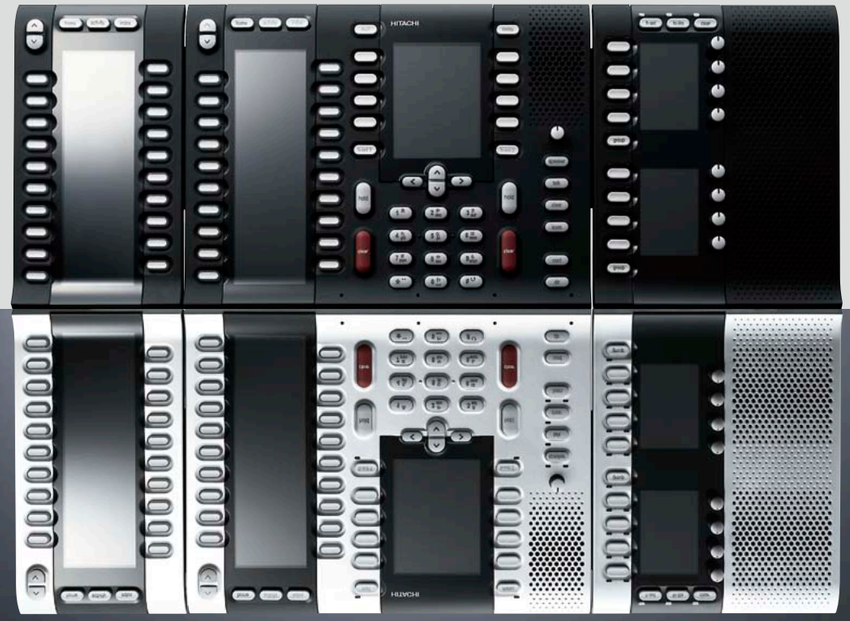
HIENG-T021A　2014.4
Printed in Japan(H)

日立ディーリング通話システム HD-X Ⅱ

HITACHI
Inspire the Next

HD-X Ⅱ

Hitachi Dealers' Communication System



株式会社 日立情報通信エンジニアリング

本カタログはAdobe社Acrobatにより制作したPDFカタログです。All Rights Reserved,Copyright ©2014,Hitachi Information & Telecommunication Engineering, Ltd.

一瞬は、もっと自在に操れる。

操作性の追求から生まれた「HD-X Ⅱ」。顧客の優先度や通話状態を
素早く把握できる表示機能や、情報を聞き取りやすい優れた
音質などが、業務にスピードと確実性をもたらします。
あらゆる一瞬の、効率と精度を高めるハイスペックな
ディーリング通話システムです。

Hitachi Dealers' Communication System HD-X Ⅱ

回線キーラベルのカラー表示

相手先の重要度に合わせて色を変えるなど、回線キーラベルを最大10色に色分けできます。常時カラー表示ですので、着信時のみでなく発信時にも相手先を簡単に見分けられます。色分けは、カラーパレットを使って自ら設定できます。

回線キーラベルのカラー表示

カラー設定画面

ひらがな漢字変換入力

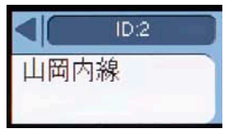
変換画面

かな文字記載のテンキーを装備。オートダイヤル登録時、携帯電話のように簡単に文字入力することができます。また、ひらがなを入力すると、漢字変換候補が一覧で表示されます。

漢字表示・ステータス表示

多様なステータス表示

相手先名称を、漢字、英数字、記号などさまざまな文字で表示します。会社名に加えて、通貨名や担当者名などを表示可能。また、通話中、着信、保留、秘話、割り込み通話中、モニタ設定中などの多様なステータスも表示します。



アプリケーション画面にも連動

アプリケーション画面

日本語と英語が選べるバイリンガル表示です。発着信履歴、電話帳、着信音設定などの各種機能の操作と設定が、ボタンと十字キーの組み合わせで簡単に行えます。

発着信履歴画面

電話帳画面

お待たせ時間バー

相手先からの着信時間を、回線キーラベルにバーで表示します。お待たせしている時間が、一目でわかります。

アクティビティー画面

アクティビティーキーを押すと、着信中、通話中、保留中などのアクティビティー回線が一覧で表示されます。相手先との通話状況が素早く把握できます。

ナンバーディスプレイ表示

外線着信時、回線キーラベルに相手先の電話番号を表示します。あらかじめ登録した相手先の場合は名称を表示し、どの顧客からの着信なのかをすぐに読み取れます。

※本機能は、ISDN回線で相手発信者番号通知ありの場合などのご利用条件があります。

祝

瞬時に、見極められるように。

音

マーケットの動きを、聞き取れるように。

3wayスピーカー

高音、中音、低音それぞれの専用スピーカーを搭載し、音質を徹底的に追求しました。相手の声による情報を、より聞き取りやすく、より認識しやすくしました。

8chスピーカー

1個のモジュールで、8相手先の音声を聞き取れます。1台のタレットにつき、スピーカーモジュールを3個まで接続でき、最大24相手先まで拡張できます。タレット本体と分離させて設置することもでき、音のする方向を分けることにより、相手先をより識別しやすくすることもできます。

ボリュームつまみ

音量の調節は、つまみ式を採用しています。何度も押す必要があるボタン式に比べて、音量の微調整が素早く簡単に行えます。

モニタ中相手先名称表示

現在スピーカーに設定している相手先の名称を、色、文字ともに回線キーラベルと連動して表示します。

スピーカーモニタ中の相手先名称を表示

ディスプレイ付き別置きマイク

オープンボイス回線に対し、手元で操作できる別置きマイクでも送話ができます。送話先名称は、色、文字ともに回線キーラベルと連動してディスプレイに表示されます。また、相手先ごとの送話音量の調節も行えます。

※ディスプレイ付き別置きマイクはオプションです。

音声検知LED

相手先の声に反応して、送話キーの上部に設置したLEDが赤く点灯します。話してきた相手先を光でも知らせます。また、音声終了後のLEDの消灯を遅らせるディレイ機能を設定することで、相手先をより特定しやすくできます。

ハイライト機能

重要な相手先などを事前に設定しておけば、ハイライトキーを押すだけでほかの相手先の音声が絞られ、特定の相手先の音声のみを聞き取りやすくできます。

ハンズフリーマイク

周囲の声が入りにくいように、指向性の高いハンズフリーマイク4個をタレット本体に内蔵しています。2本のハンドセットが通話中でも、インターコム用として使用できます。さらに、グースネックマイクを接続してのハンズフリー通話やインターコムも行えます。

※グースネックマイクおよびインターコムはオプションです。

ハンドセット掛け

オプションで、受話器を置くためのハンドセット掛けが取り付けられます。ワーキングスペースを有効に使えます。

ハンドセット

受話器の外側にロック式、内側にプレス式のミュートスイッチを備え、送話の一時遮断をスムーズに確実に行えます。さらに、側面のダイヤル式ボリュームの操作で、タレットまで手を伸ばすことなく受話音量が調節できます。

グループ一斉キー

複数の相手先に同時に話せるグループ一斉キーを、スピーカーモジュール1台につき2個備えています。グループは自ら設定できます。